



森

一久

様

一中在校中は、一度も御一緒したこともなく、東京一八会もこの三年間、三回、出席しただけ、今回はじめて貴兄に接する幸運にめぐまれ喜んでおります。その上、早々に種々の資料を送付くださり本当に有難うございました。

貴兄の御活躍については、末田さん他、多数の方々からお噂は聞いていますが、是非、一度お目にかかりたいと思っております。資料を見、特に「原子力にルネッサンスを」は熟読させてもらい、貴兄の国家的見地からの識見と将来への展望の下での献身的な御活躍の様子を具に読ませていただただ敬服という言葉しかありません。

私は、日本の平和と繁栄のためにはエネルギー問題は避けて通れず、原子力の平和利用は欠かせないと観点から、教職時代でも早期より主張しあの広島平和運動のなかでは、「あいつは右翼やら左翼やらわからん」と非難されたりしました。私の同期生のなかには原子力エンジンに取り組んだ者もあり、私自身も東海、敦賀、玄海、等の原発も見学しました。「むっ」も現場技術者の研究訓練用に活用すべきだと主張したりしました。温暖化問題の視点からは最もクリーンなエネルギーの一つであると述べてきました。

御礼も申し上げないうちに無断で幾つかの小集会で、貴兄のお名前と要旨を紹介させてもらったりしています。近いうちに、同憂の士、若手政治家の何人かに、要旨を紹介しようと思っておりますが、御許容の程お願いします。

一八会の後、印旛沼浄化のための里山保全のNPOで山林(印旛沼畔)の整備、家庭菜園付近(鹿島川の源流付近)の除草、カブト虫飼育場(小中学生の飼育観察用)の整備、そしてvの会の者たちとの小集会と多忙、蒸し暑い日の労働が続き一寸疲れました。印旛沼の水は実は千葉市の水道水なのです。数年前、その点を強調して計画にないという本下水を完成させました。お礼が遅れてしまつて申し訳ありません。

鳩摩羅什の話、興味深く拝見しました。ご多忙の中で、このような事にも取り組んでおられるとは驚きです。浅学の身にて、経典など、般若心経、歎異抄、法華経の一部くらいを学生時代にかじったくらいですが、羅什の大乗仏典の訳業が日本人の精神世界に与えた影響は測りしれないと思います。そして貴兄のあのような取り組みは、日、中の友好とも大きく関わってくるものとも思います。古来からの宗教対立、ハンチントンの文化の衝突が現実に大きくのしかかっている現在、無宗教の私ですが、仏教の果たす役割は決して小さくはないと思います。日中関係は、エネルギー問題(私は日米衝突の大きな原因の一つは石油だったと思っています。)と精神文明の相互理解が重要と受け止めておりますが、その両面において活動されている貴兄を無にしてはならないと思います。

今後のご奮闘を期待してやみません。

同封の「日米文化のはざまに生きて」は恩師の著述でして、出版に関わって
正月以来その紹介に努めてきました。ご多忙なのにこのようなものを進呈して
済みません。放置されて結構です。機会があれば一寸話題にしてください。
身辺雑記はそのまま屑籠にでも……



西
周
豐
敦